独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立那須甲子青少年自然の家

令和２年度　概要

那須甲子の自然はでっかいぞ！

カタクリ・ツツジなどの花々が咲き誇る春、青く澄んだ空に高原の緑が萌える夏、山々が夕焼け色に染まる秋、見渡すかぎり白銀の世界となる冬。四季折々の表情が美しい那須甲子の高原にある「国立那須甲子青少年自然の家」。恵まれた豊かな自然は子供たちの気づきの場にかわり、仲間とのかけがえのない体験を通して、子供たちの豊かな人間性をはぐくんでいきます。

NATIONAL NASUKASHI YOUTH OUTDOOR LEANINGCENTER

教育目標

那須甲子での体験活動を通して、
自然と語らい、仲間と語らい、
豊かな感性や人間関係力・社会力を養い、
社会人としての規範意識を育てる。

那須ロッジ

キャンプ場

所章（シンボルマーク）

国立那須甲子青少年自然の家の那須（NASU）の「N」と甲子（KASHI）の「K」を組み合わせてデザイン化したものです。

愛称（ニックネーム）

「なすかしの森」は次代を担う子供たちのために、豊かなかけがえのない森を守り、育てていきたいと願ったものです。

那須甲子の歩み。

沿革

国立那須甲子青少年自然の家は、国立第2番目の少年自然の家として、昭和51年に設置され、毎年10万人以上、今日までに500万人を越える方々にご利用いただいております。

昭和48年12月27日	国立第2少年自然の家の建設が福島県西白河郡西郷村に決定
昭和52年7月1日	一部事業開始（宿泊定員300人）
昭和52年11月30日	プレイホール完成、全面事業開始（宿泊定員400人）
昭和53年5月21日	開所式挙行、砂田文部大臣来所
昭和53年8月2日	皇太子殿下同妃殿下行啓（天皇皇后両陛下）
昭和54年7月1日	キャンプ場開場
昭和55年5月26日	那須ロッジ完成
昭和55年8月28日	天皇両陛下那須ロッジ行幸（昭和天皇）
昭和56年8月26日	天皇陛下本館行幸（昭和天皇）
昭和59年12月25日	野外炊飯庫・用具庫完成
昭和60年7月26日	臨時教育審議会委員視察（第3部会）
昭和61年3月18日	野外炊飯上屋（3棟）完成
昭和62年10月25日	開所10周年記念式典挙行
平成2年7月10日	自然館・宿泊棟Cリーダー室完成
平成4年1月31日	宿泊棟Bリーダー室完成
平成5年12月25日	食堂増築・宿泊棟A棟改修
平成6年2月1日	「なすかし友の会」発足
平成6年4月28日	C棟宿泊室改修
平成6年10月26日	ニックネーム「なすかしの森」に決定
平成8年4月26日	インターネットホームページ開設
平成9年1月20日	プレイホール全面改修
平成9年5月18日～19日	小杉文部大臣視察
平成9年10月23日	開所20周年記念式典挙行
平成12年8月19日～20日	大島文部大臣視察
平成12年10月31日	環境学習棟完成
平成13年4月1日	独立行政法人国立少年自然の家に移行
平成14年1月18日	那須ロッジ全面改修
平成15年9月26日	石窯完成
平成17年12月21日	食堂全面改修
平成18年4月1日	組織改編に伴い、独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立那須甲子青少年自然の家に移行
平成19年6月1日	交流談話棟利用開始
平成19年10月6日	開所30周年記念式典挙行
平成23年3月11日	東日本大震災
平成23年3月13日～8月26日	東日本大震災により一般受け入れ休止、東日本大震災一次避難所受け入れ
平成23年7月21日～8月30日	リフレッシュキャンプの開催（計11回）
平成23年8月4日	高木文部科学大臣視察
平成25年3月15日	「新しい公共」型の管理運営に向けた試行的実施に関する運営協議会設置（第1回運営協議会開催）
平成27年4月24日	「新しい公共」型運営協議会設置（第1回運営協議会開催）［本格的実施］
平成27年12月2日	野外炊事場に東屋設置
平成28年9月20日	総利用者数500万人達成
平成29年10月9日	開所40周年記念祝賀会開催
平成30年9月1日	わくわくひろば開設

開所式 砂田文部大臣来所

皇太子殿下同妃殿下行啓（上皇上皇后両陛下）

開所30周年記念式典

なすかしの森 MAP

なすかしの森へ ようこそ

施設規模

敷地面積	130万㎡
建物面積	1万6千㎡
宿泊人員	
本館	400人
ロッジ	120人
キャンプ場	250人

赤面山登山コース
赤面山登山コース エスケープルート
マウントジーンズ スキー場
(青少年自然の家から約10km)
那須ロッジ(本館より約15km)
パノラマ展望所
パノラマコース
野外冒険の森
萩の庭
第1 スキー場
グランディ羽鳥湖 スキーリゾート
(青少年自然の家から約25km)
N
貯水槽
営火場A
営火場B
営火場C
営火場D
剣桂赤コース
剣桂黄色コース
本館
であいの小径
自然館
野外炊飯庫
環境学習棟
野外炊飯場
わくわくひろば
集いの広場
かたらいの丘
ウッドチップロード
駐車場
星をみる丘
なかまづくりの森
第2 スキー場
こども運動広場
県道290号線
白河高原 カントリークラブ
甲子トンネル
至下郷
至剣桂神社
新甲子 自然遊歩道
国道289号線
至白河
堀川
沢あそびコース
キャンプ場A
キャンプ場B
キャンプ センター
キビタ沢
イワナ つかみ地点
キャンプ場C
堀川ダムハイキングコース
至堀川ダム
0 100 200 300 400 500m

那須甲子の自然と語り合う

施設配置図（本館）

●プレイホール

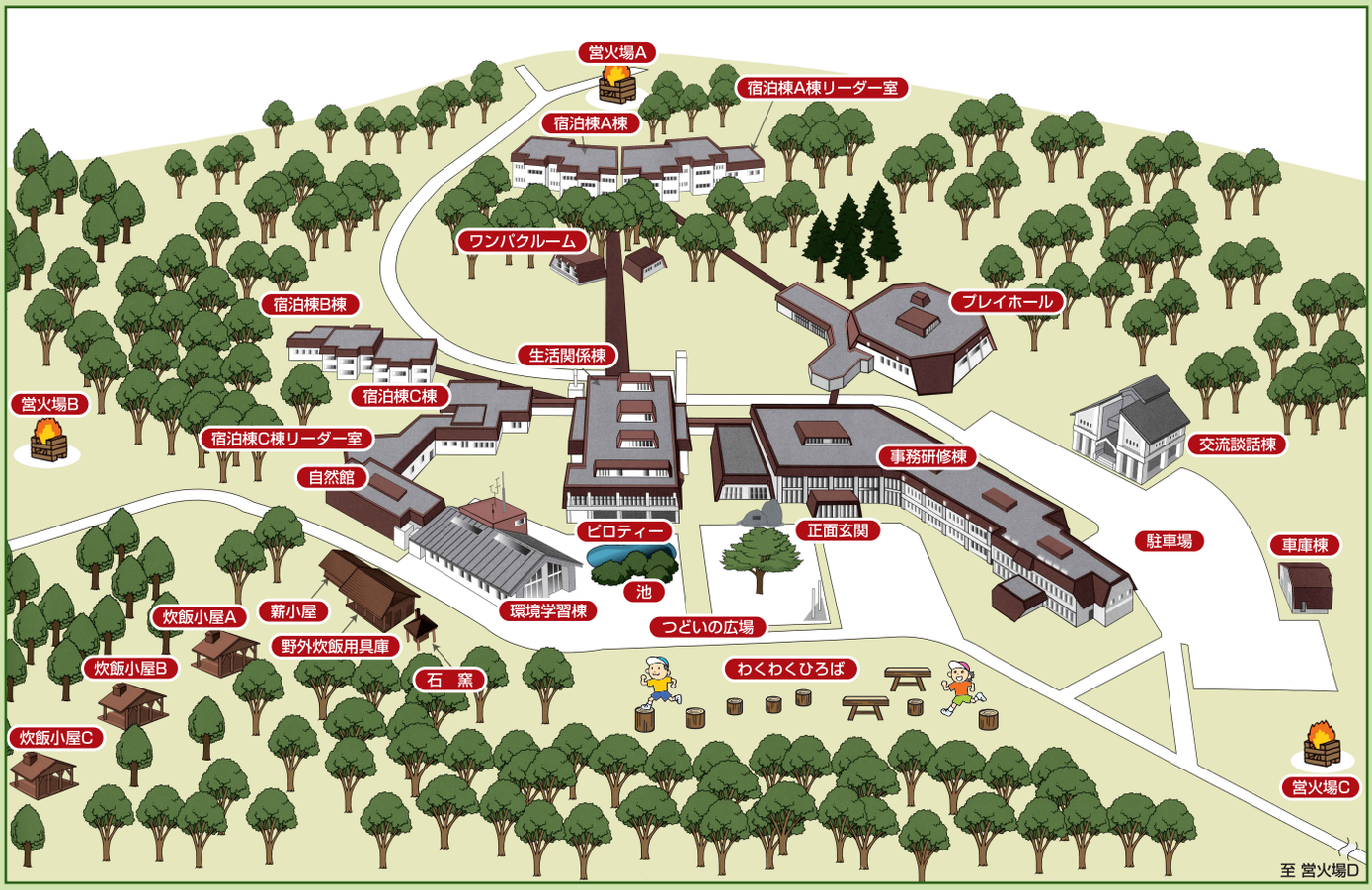
約130万㎡の広大な土地に、活動の中心となる本館やキャンプ場があり、野外活動の施設やコースが効果的に整っております。本館は宿泊・食事・入浴など生活面での設備はもちろん、自然や環境について学べる自然館・環境学習棟、天候に左右されないプレイホール等自然や仲間と語り合えるキーステーションとして親しまれています。また、本館から15km離れた栃木県那須町には、茶臼岳・朝日岳登山の拠点となる那須ロッジがあります。

●ワンパクルーム

●宿泊室（A・B棟）

●宿泊室（C棟）

●浴室



●環境学習棟

●自然館

●食堂

●パン工房

主な活動プログラム

登山
- 赤面山登山
- 茶臼岳登山
- 那須連山縦走登山 など

ハイキング
- 剣桂ハイキング
- 沢歩きハイキング
- ナイトハイキング
- オリエンテーリング など

雪中活動
- ネイチャースキー
- そり遊び
- 雪像づくり
- 雪上運動会 など

創作活動
- 白河だるまの絵付け
- 焼き板づくり
- 森のたより など

炊飯活動
- 野外炊事
- ピザづくり
- そば打ち・うどん打ち など

観察活動
- 自然観察
- バードウォッチング
- 星空観測 など

その他の活動
キャンプ、キャンプファイヤー、プレイホールでのキャンプファイヤー
レクリエーション、なすかしチャレラン など

研修指導員等と連携した直接指導も行っております。

環境学習

自然観察

春

モリアオガエル

夏

イワナつかみ

夏

阿武隈川源流探検

秋

茶臼岳の紅葉

冬

かまくら作り

冬

みんなで雪遊び

令和元年度
国立那須甲子青少年自然の家教育事業等実施一覧

［看板事業］

なすかしの森 セカンドスクール

期間・参加者

○10月21日(月)～10月25日(金)
棚倉町立高野小学校 14名

○10月22日(火)～10月25日(金)
棚倉町立近津小学校 23名

○11月5日(火)～11月9日(金)
西郷村立熊倉小学校 63名
羽太小学校 9名・川谷小学校 5名

○11月11日(月)～11月15日(金)
西郷村立米小学校 39名
白河市立表郷小学校 47名

○11月12日(火)～11月15日(金)
棚倉町立社川小学校 28名

○11月18日(月)～11月22日(金)
西郷村立小田倉小学校 66名

西郷村5校、白河市1校、棚倉町3校、計9校の5年生が3泊4日または4泊5日の日程で参加した。参加児童は、学校と当施設とで連なった学習活動の中で、実感的な学びを深めることができた。また、実施期間中、家族と離れることで衣食住の大切さやノーメディア経験による仲間との時間の過ごし方の大切さを実感することができた。担当教員は、教職経験者である施設職員と連携して自校の教育目標に基づいたプログラム(時間割)作成を行うことで、児童に当施設の教育資源や環境を有効に活用することができた。

［地域力向上事業］

なすかしの森 9DAYSキャンプ～みんながつくる この夏の冒険～

期　間

○ウォーミングアップキャンプ
6月30日(日)日帰り

○メインキャンプ
8月4日(日)～8月12日(月)
8泊9日

○フォローアップキャンプ
1月11日(土)～1月12日(日)
2泊3日

参加者

福島県、栃木県、茨城県、東京都、神奈川県の小学5・6年生・中学1・2年生男女25名

小中学生25名が自分たちで考え、生活をデザインするという7泊8日の長期宿泊体験事業。6月にウォーミングアップキャンプを行い、関係構築を図った。8月のメインキャンプでは、水も電気もない場所をテントサイトとし、自分たちで生活を設計する第Ⅰステージと、テントサイトから途中でベースキャンプを張りながら茶臼岳山頂まで行き、2泊3日で、戻ってくるという第Ⅱステージ、さらに、今までの振り返りを行い、保護者向けにプレゼンをする第Ⅲステージに分けて行った。自分たちで野外炊事をしたり、グループ登山をすることで、「協働する喜び」を感じ、「仲間意識」を醸成し、「自己肯定感」を高めるというねらいを達成することができた。また，毎日の振り返りで、仲間の良さを伝え合う活動を取り入れたことも、大きな要因だったと考えられる。1月に行ったフォローアップキャンプでは、20名の参加となり、再会を喜んだ。再会パーティを自分たちで創ったり、雪中活動でも、遊び方を工夫したりしながら、3つのねらいを思い出すことができた。また、これからの生活について考え、志を立てることで、前向きに生活する意欲につなげることができた。

［地域力向上事業］

なすかしの森 100%(100パーセンド)鮮度体験キャンプ

期　間

春編　5月　5日(日)～　6日(祝月)
夏編　8月31日(土)～ 9月1日(日)
秋編 12月14日(土)～　15日(日)
冬編 ※団体受入れ利用停止により中止

参加者

春編 西郷村内の小学生 9名
夏編 西郷村内・白河市内各小学生 12名
秋編 西郷村内・白河市内各小学生 10名

白河市と西郷村に在住する、ひとり親家庭の小学校4・5・6年生の児童を対象に、季節に合わせたさまざまな自然体験活動をはじめ、食事づくりなどの生活体験、異学年での宿泊体験などの多様な活動を体験することを通して、基本的な生活習慣の確立や自立する力を身に付けることを目指した。子供たちが段階的にステップアップできるような各回のねらいを定め、年4回の体験活動で子供たちが自分たちで楽しむ方法を考えつくってやってみる活動を通して、子供たちが自ら考え決める、自ら行動する力(自立する力)を育み、自己肯定感を高めることを目標とした。

［地域力向上事業］

なすかしの森 サバイバルキャンプ

期　間

2月22日(土)～23日(日)

参加者

小学3年生～中学生の男女　52名

那須甲子の冬の自然環境を生かしたプログラムを提供し、参加者が様々な困難に対処できる防災意識を身に付けることを目指した。サバイバルグッズのクラフトや研修室を避難所に見立てた宿泊体験など、防災学習要素を取り入れたものや、雪中トレジャーハントなど冬の寒さに耐え抜くことを目的としたプログラムを実施した。参加者アンケートには、「冬のなすかしで生活するのがとてもきびしいということがわかった。」「寝床作りで、新聞を枕にしたり工夫する点がおもしろかった。」「パラコードで、家族でキャンプに行ったときなどに教えていっしょに作りたいと思った。」などとあり、防災意識の芽生えが伺えるような感想が多くあった。

なすかしの森 ファミリーチャレンジ

［普及啓発事業］

期　間

第1回　7月　5日(土)～7月　6日(日)
第2回　9月28日(土)～9月29日(日)
第3回　2月　1日(土)～2月　2日(日)

参加者

第1回 18家族 55名
第2回 12家族 40名
第3回 17家族 61名

親子を対象に、様々な自然体験活動を通して、家族のふれあいや他の家族との交流の場を提供した。第1回目は、那須甲子の自然環境を生かしながら、七夕のプログラムを通して日本の伝統を学んだ。第2回目は、東京オリンピック・パラリンピック競技会開催に伴い、パラスポーツの普及・啓発を促す機会を提供し、スポーツの楽しみ方を肌身で感じられるプログラムを行った。第3回目は、雪の活動や日本の文化（豆まき・恵方巻き）の体験を通して、家族の絆を深めた。

なすかしの森 ファミリーフェスティバル2019

［普及啓発事業］

期　間

10月5日(土)～6日(日)

参加者

宿　泊　47家族 173名
日帰り　1,000名

那須甲子青少年自然の家のフィールドを生かした活動プログラムや県南地域の団体と連携した多様な体験の場を提供することによって、当施設を知ってもらい、体験活動の重要性や早寝早起き朝ごはんの普及啓発することを目的とする事業である。当日は、多くの団体からブース等の出展協力をいただき、参加者に体験プログラムを提供した。

前日のワークショップでは、「いのちと語るワークショップ」のテーマのもと、絵本作家の村上康成さんをお招きして開催した。カラフルな絵の具を使ってペイントし、細長いヘビの形や大きなタコの形など、参加者の個性あふれる作品が数多くできあがった。

なすかしの森 のびのびキッズ

［普及啓発事業］

期　間

第1回　8月24日(土)
　　～8月25日(日)
第2回　11月9日(土)
第3回　2月15日(土)

参加者

第1回 11家族 26名
第2回 8家族　26名
第3回 8家族　22名

幼児が自然の中での様々な遊びにより、好奇心や探求心が刺激されると同時に体を動かすことの楽しさを知り、徐々に自信をつけていくことで子供の積極性や個々の興味関心を引き出すことができるよう、多様な動きの獲得、体力・運動能力の基礎を培う機会を提供した。

第1回は沢遊びやキャンプファイヤー、アウトドアクッキング、第2回は落ち葉のプール遊びや焼き芋、植物クラフト、第3回は雪あそびやたき火をそれぞれ実施し、季節を感じながら自然の中で遊ぶことのできるプログラムを取り入れた。

なすかしの森 冬のファミリーフェスタ

［普及啓発事業］

期　間

12月21日(土)
　～12月22日(日)

参加者

家族　46名

元バレーボール女子日本代表大山加奈さんを招き、夢に向かって努力する姿勢やボールを使った運動の効果を学んだ。また、運動不足になりやすい冬期に体を使ったスポーツを行うとともに、青少年期の体験活動や基本的生活習慣の重要性を普及した。ボール遊び体験プログラムやキャンプファイヤー・キンボール・タグラグビー・ラダーゲッター等様々なスポーツを通じ、体力向上と交流を深めた。

なすかしの森 YONEXバドミントン合宿セミナー

［普及啓発事業］

期　間

1月18日(土)
　～1月19日(日)

参加者

宿泊69名　日帰り6名

民間企業等連携事業として「ヨネックス株式会社」の協力を得て実施した。ヨネックスバドミントンチーム選手2名が講師となり実施することができた。実技指導、ゲーム練習では細かい技術面の指導や選手とのゲームなど選手と直接打ち合う練習が出来た。また、選手との交流タイムでは質問コーナーなど選手と直接触れ合う場で、練習では見ることのできない人間性が感じられる機会となった。参加者にとってはモチベーションアップや技術向上にも繋がった。

[指導者等養成研修事業]

なすかしの森 ボランティア養成研修

期　間
5月11日(土)
　～5月12日(日)
1泊2日

参加者
高校生　18名
短大生　5名
大学生　18名
専門学校生 1名
社会人　4名
先輩法人ボランティア 4名　引率教授 1名
合計51名（内、新規法人ボランティア登録 40名）

国立青少年教育振興機構の基本カリキュラムに基づき、「青少年教育と青少年教育施設の役割」「青少年教育施設におけるボランティア活動の意義」「青少年についての理解」「普通救命講習」「活動プログラムの体験」などの講義・実習を行った。参加者が主体的に参加しできるよう工夫した。カリキュラムの中でも話し合う場面を多く設定したり、夜の時間には茶話会を企画したりし、参加者同士の交流も多くできた。その結果、その後、法人ボランティアとして活躍する人が増えた。

[指導者等養成研修事業]

自然体験活動指導者養成事業

期　間
9月14日(土)
　～9月16日(月)

参加者
18名

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を養成した。また、全国の国立青少年教育施設で子供たちの体験活動を支援する「法人ボランティア」として必要な知識も併せて学習した。各科目の講師は、現場の最前線で活躍し経験豊富な実践者・研究者に依頼し、より参加者のニーズに即した講義となった。また、一部の科目では那須甲子のフィールドならではの自然を生かし、実習を行った。

[指導者等養成研修事業]

教員免許状更新講習

期　間
7月31日(水)
　～8月2日(金)

参加者
小・中・高等学校教員　15名

「教育効果を高めるための自然体験活動」をテーマとし、大学や企業等で実践する講師に招き、近年の社会的環境及び児童・生徒の現状や発達段階を踏まえたプログラムを展開した。参加者は、体験活動の意義と必要性及び教育的効果についての理解を、実習等を通して理解を深めることができた。また、野外活動（ナイトハイク）の企画計画作りを通して教員に求められるコミュニケーション能力や自然体験活動の指導方法についての学ぶ姿があった。参加者の声には、「どの講習も“参加している”と感じることができ、また、グループでの活動では他の参加者の意見や考えを交流することができ大変参考になったなど、高評価を得ることができた。

[指導者等養成研修事業]

なすかしの森 体験活動スキルアップセミナー

期　間
8月23日(金)～8月24日(土)

参加者
大学生　3名
小学校教諭　1名
中学校教諭　1名
高等学校教諭 1名
合　計　5名
（この他に当施設職員も参加）

東京都小学校児童文化研究所会長の福田 豊氏とNPO法人野外遊び喜び総合研究所代表の中嶋 信氏を講師に招き、自然の家で頻度が最も高いキャンプファイヤーの体験プログラムの実践を通して、体験活動に関する考え方や技術を修得するセミナーを開催した。セミナーは「効果的なキャンプファイヤーのつくり方」・「クラスづくりに活かせるアイスブレイク」・「体験活動がクラスを変える!～体験活動の理論と実際～」・「これからの実践に活かす」と4セッションを実施。参加者のアンケート結果から、「実際にキャンプファイヤーの流れを経験することができてよかった。」「マジックファイヤーの仕掛けづくりを体験することができてよかった」等評価を得た。

[指導者等養成研修事業]

パパ育キャンプ

期　間
9月21日(土)～9月22日(日)

参加者
8家族 17名

幼児の自然体験活動の機会を拡大させることを目的に、保護者に自然の中でのプログラムを体験してもらい、プログラムの楽しさや危険性、活動を通した体の動きを実感できるような内容とした。なお、昨年度の父親対象事業実施時に参加者から挙がった「父親同士の交流の場が乏しい」「子育てについての学びの場が欲しい」等の声を参考に、幼児と父親を対象とした。

1日目には「木登り」や「松ぼっくり投げ」等のミッションがかかれたカードを持ちながらのハイキングやテント設営、ボンファイヤーを行い、2日目にはアウトドアクッキングを行った。また、大人と子供に分かれた対象別プログラムも取り入れ、自然の中での遊びに関する講話を大人が聞く時間を設けた。

テントの物品運びや野外炊事での野菜切りなど、個々のできるレベルに応じてプログラムに取り組めるよう声掛けをしながら事業を進めた。体力や自分でできることの範囲に個人差が大きい年齢の参加者であったが、それぞれが役割を見つけ取り組むことができた。

100%鮮度の原体験

体験の風をおこそう

国立那須甲子青少年自然の家

令和２年度 なすかしの森 教育事業一覧

心おどる！なすかしの森

令和２年４月２０日現在

対象	事業名	趣旨	日程
近隣小学校５年生	セカンドスクール	西郷村及び棚倉町の８つの小学校と連携した事業であり、５年生を対象とした宿泊学習活動です。当施設が有する教育資源を活用し、新学習指導要領に対応した教科等に関連した体験活動プログラム、自然体験等を行うことで「主体的・対話的で深い学び」を促し、生きる力や考える力を育てることを目的としています。 ＜３泊４日または４泊５日＞ 参加校 棚倉町立近津小 棚倉町立高野小 西郷村立小田倉小 西郷村立米小 棚倉町立社川小 西郷村立熊倉小 西郷村立羽太小 西郷村立川谷小	１０月１９日（月）～２３日（金） １０月１９日（月）～２３日（金） １０月２６日（月）～３０日（金） １１月　９日（月）～１３日（金） １１月１０日（火）～１３日（金） １１月１６日（月）～２０日（金） １１月１６日（月）～２０日（金） １１月２４日（火）～２７日（金）
一般 家族	体験フェスティバル	家族を対象に、様々な体験活動の提供を通して、子供の頃の体験の重要性や読書活動を普及・啓発します。 ＜１泊２日もしくは日曜日のみの参加＞	１０月　３日（土）～　４日（日）
親子	ファミリーチャレンジ	幼児，小学生、中学生を含む親子を対象に、四季折々の様々な自然体験活動を通して、家族のふれあいや他の家族との交流の場を提供します。　＜各回１泊２日＞	~~６月２０日（土）～２１日（日）~~ ８月１５日（土）～１６日（日） １２月１２日（土）～１３日（日） 令和３年２月２７日（土）～２８日（日）
小学生	ワンダーキッズキャンプ	小学３～６年生を対象として、野外での活動スキルを身に付け、防災意識を学ぶことを基本にしたキャンプです。 ＜各回１泊２日＞	７月１８日（土）～１９日（日） ９月１２日（土）～１３日（日） 令和３年２月　６日（土）～　７日（日）
	１００％鮮度！ (100パーセンド) 体験キャンプ	福島県内在住のひとり親家庭の４～６年生の児童やその保護者を対象に、自然体験等を通して、生活習慣の確立や自立する力を身につけることを目指します。 ＜各回１泊２日・（１２月のみ日帰り）＞	~~６月１３日（土）～１４日（日）~~ ７月１１日（土）～１２日（日） ９月　５日（土）～　６日（日） １２月１９日（土） 令和３年２月１３日（土）～１４日（日）
小・中学生	９ＤＡＹＳキャンプ ２０２０	小学５～中学２年生を対象とした８泊９日の長期宿泊体験事業です。活動内容を自分たちで考え、仲間と協力して課題に取り組みながら自然体験活動を行うことにより、仲間を大切にして課題発見・解決していく人材の育成を目指します。　＜メインキャンプ８泊９日＞	【ウォーミングアップキャンプ】 ７月　５日（日） 【メインキャンプ】 ８月　２日（日）～１０日（月） 【フォローアップキャンプ】 令和３年１月　９日（土）～１１日（月）
	あらうんどふくしま エキサイティングキャンプ	小学４～中学３年生を対象とした６泊７日の長期宿泊体験です。福島県内の自然の家、交流の家をまわり、それぞれの施設の特色ある体験活動を行うことで、福島県の魅力を感じることができます。　＜６泊７日＞	７月２３日（木）～２９日（水）
一般・指導者	ボランティア養成研修	体験活動ボランティアを養成する研修です。研修後は全国２８の国立施設で法人ボランティアとして活動できます。 ＜１泊２日＞	~~５月　９日（土）～１０日（日）~~ ~~延期⇒６月　７日（土）～　８日（日）~~
	自然体験活動指導者 養成研修 (ボランティア養成研修)	自然体験活動指導者（NEAL リーダー）と当機構法人ボランティアの資格が取得できます。　＜２泊３日＞	９月 19 日（土）～21 日（月）
	教員免許状更新講習	体験活動を中心とした教員免許状更新講習です。 （選択１８時間）＜２泊３日＞	７月２９日（水）～３１日（金）
	保育者・指導者のための [しぜんであそぶ！]体験会	幼児に対する効果的な自然体験活動を学びます。 ＜各回日帰り＞	~~６月２７日（土）~~ ２回目以降も計画中

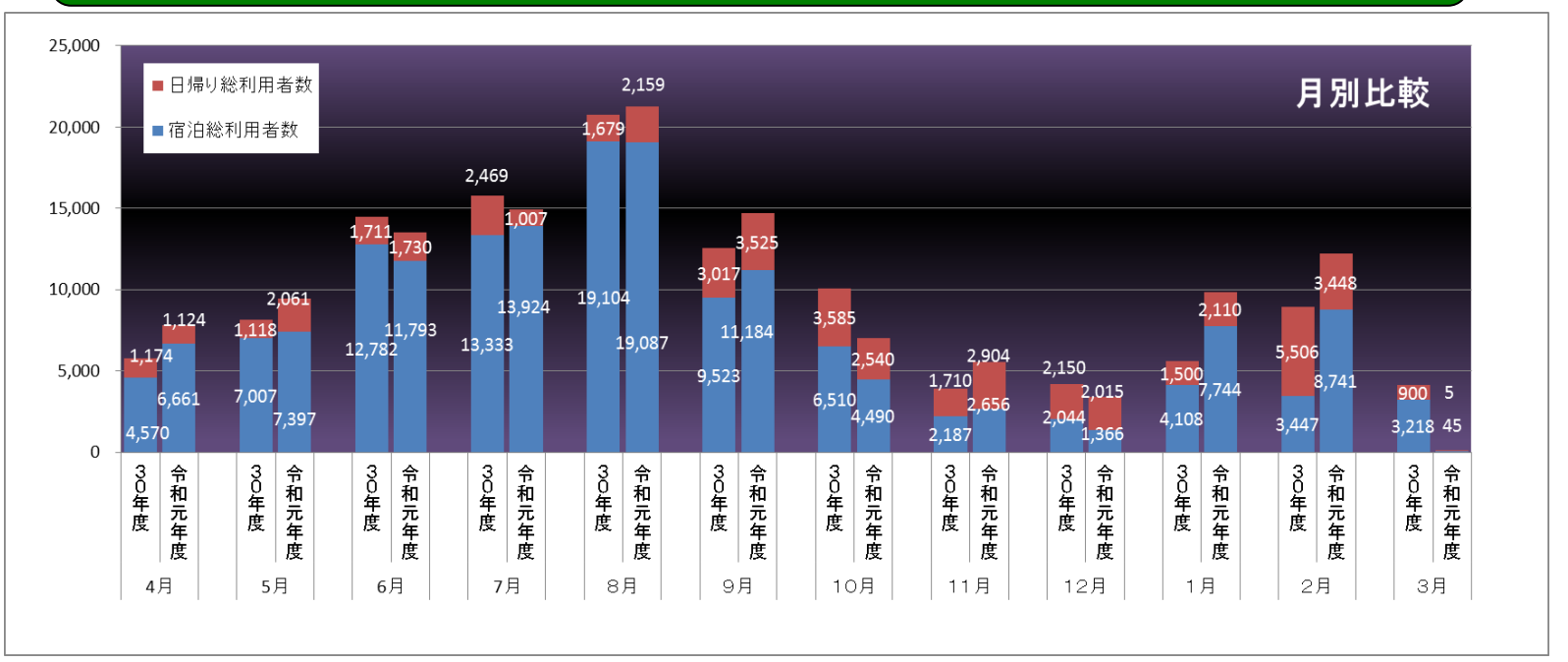
詳細が決まり次第，随時 web サイト等で御案内します。また，日程等が変更になることもございます。

【お問い合わせ先】独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立那須甲子青少年自然の家
〒961-8071　福島県西白河郡西郷村大字真船字村火 6-1　TEL 0248-36-2331　FAX 0248-36-2150
ホームページ　https://nasukashi.niye.go.jp（詳細が決まり次第随時掲載）

国立那須甲子青少年自然の家　利用状況

平成30年度と令和元年度の利用者数比較

※教育事業を含む。



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿泊利用者数	R1	6,661	7,397	11,793	13,924	19,087	11,184	4,490	2,656	1,366	7,744	8,741	45	95,088
	H30	4,570	7,007	12,782	13,333	19,104	9,523	6,510	2,187	2,044	4,108	3,447	3,218	87,833
	R1－H30	2,091	390	-989	591	-17	1,661	-2,020	469	-678	3,636	5,294	-3,173	7,255
日帰り利用者数	R1	1,124	2,061	1,730	1,007	2,159	3,525	2,540	2,904	2,015	2,110	3,448	5	24,628
	H30	1,174	1,118	1,711	2,469	1,679	3,017	3,585	1,710	2,150	1,500	5,506	900	26,519
	R1－H30	-50	943	19	-1,462	480	508	-1,045	1,194	-135	610	-2,058	-895	-1,891
総利用者数	R1	7,785	9,458	13,523	14,931	21,246	14,709	7,030	5,560	3,381	9,854	12,189	50	119,716
	H30	5,744	8,125	14,493	15,802	20,783	12,540	10,095	3,897	4,194	5,608	8,953	4,118	114,352
	R1－H30	2,041	1,333	-970	-871	463	2,169	-3,065	1,663	-813	4,246	3,236	-4,068	5,364

過去15年間の利用者数比較

※教育事業を含む。

都道府県別利用者数比較

※教育事業参加者数を含めない.

令和元年度	福島県	栃木県	茨城県	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	その他	合計
団体数	424	117	104	160	128	172	24	56	1,185
利用者数	31,793	9,254	10,484	15,237	8,784	19,693	1,391	3,199	99,835

令和2年4月1日現在

30年度	福島県	栃木県	茨城県	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	その他	合計
団体数	485	117	105	144	124	98	26	64	1,163
利用者数	37,841	9,151	11,395	10,837	6,804	9,005	2,504	5,092	92,629

差引き	福島県	栃木県	茨城県	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	その他	合計
団体数	−61	0	−1	16	4	74	−2	−8	22
利用者数	−6,048	103	−911	4,400	1,980	10,688	−1,113	−1,893	7,206

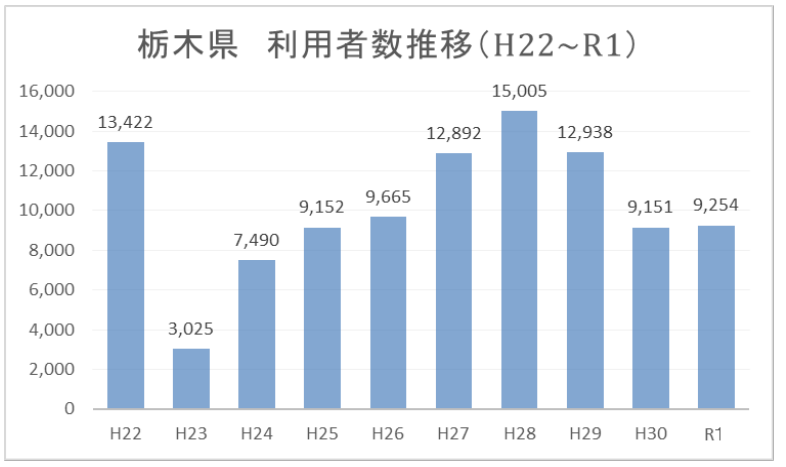
主催団体別利用状況比較

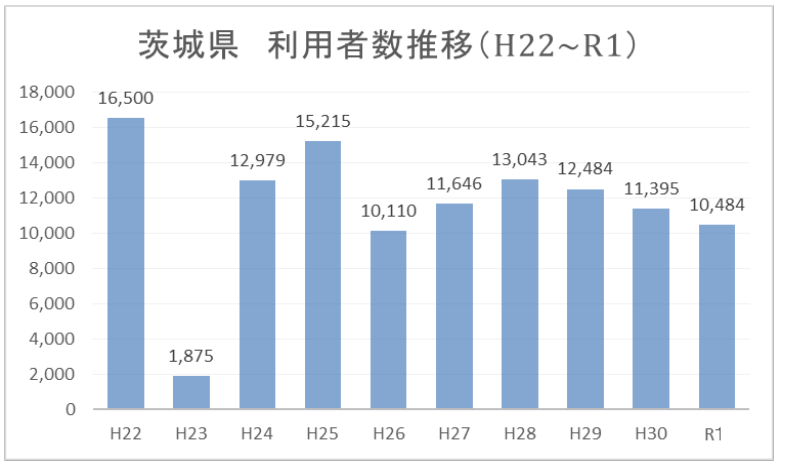
令和元年度	青少年団体			学校							その他		官公庁・企業など		家族	総合計
	当機構	公立青少年教育施設等	青少年活動関係	保育園幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学短期大学高等専門学校	専修学校専門学校	特別支援学校	上記以外の教育関係施設・団体等	上記以外の団体・グループ・サークル	官公庁等	企業等		
団体数	146	2	181	57	225	121	17	8	12	24	194	106	33	34	171	1,331
利用者数	19,881	72	13,341	3,364	26,268	20,473	3,327	593	2,287	1,622	16,159	5,778	2,313	2,663	1,575	119,716

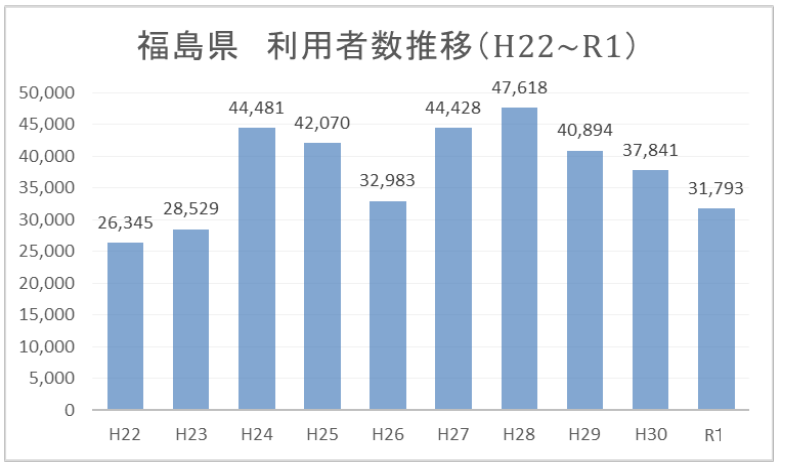
30年度	青少年団体			学校							その他		官公庁・企業など		家族	総合計
	当機構	公立青少年教育施設等	青少年活動関係	保育園幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学短期大学高等専門学校	専修学校専門学校	特別支援学校	上記以外の教育関係施設・団体等	上記以外の団体・グループ・サークル	官公庁等	企業等		
団体数	161	4	186	51	245	65	14	12	7	39	197	125	36	41	141	1,324
利用者数	21,723	103	14,004	3,363	26,231	10,943	2,207	792	1,494	1,708	16,543	8,394	3,210	2,256	1,381	114,352

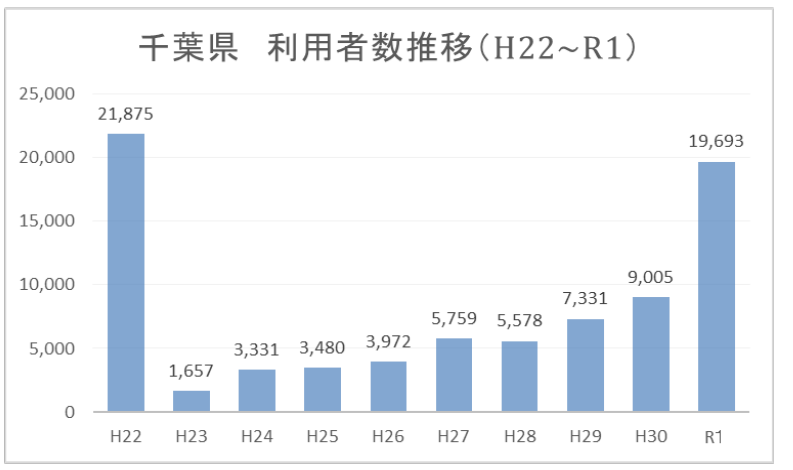
差引き	青少年団体			学校							その他		官公庁・企業など		家族	総合計
	当機構	公立青少年教育施設等	青少年活動関係	保育園幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学短期大学高等専門学校	専修学校専門学校	特別支援学校	上記以外の教育関係施設・団体等	上記以外の団体・グループ・サークル	官公庁等	企業等		
団体数	−15	−2	−5	6	−20	56	3	−4	5	−15	−3	−19	−3	−7	30	7
利用者数	−1,842	−31	−663	1	37	9,530	1,120	−199	793	−86	−384	−2,616	−897	407	194	5,364

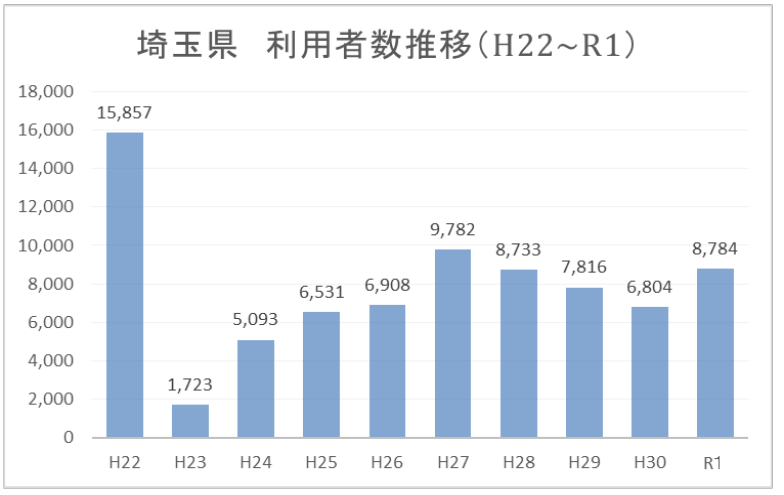
過去10年間の県別利用者数の推移（平成22～令和元年度）

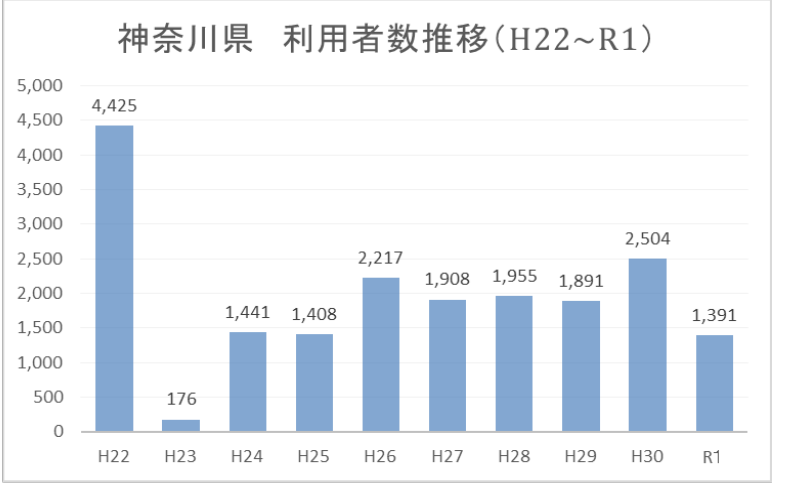


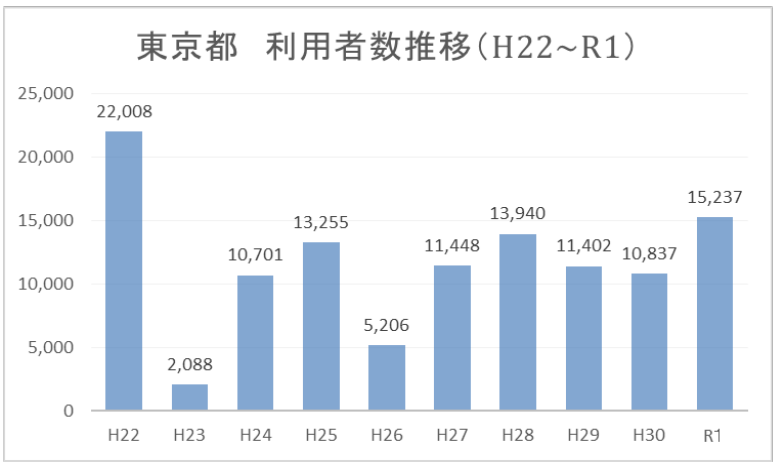












「なすかしの森」での活動と仲間と共に過ごす時間は，「ドキドキ・わくわく，泣いたり，笑ったり，つらかったり，楽しかったり」と，感動と色々な気づきをもたらすことでしょう。

原体験は，子供たちの成長に欠くことのできないもので，私たちは一人でも多くの子供たちにその機会を提供したいと考え，安全の確保にも留意し，取り組んでいます。

国立那須甲子青少年自然の家では，いつもと違う環境で，日常生活では得られない体験ができます。私たちは，一人でも多くの方々に，得がたい体験をしていただきたい，楽しく笑顔で過ごしていただきたいと願っています。

「なすかしの森」に集う皆さんが笑顔になるために，一人一人に大切にしてほしい心がけを「なすかし7ピース」としています。

パーセンド
100%鮮度の原体験
国立那須甲子青少年自然の家